



# 「ぶんぶくちやがま」



## どんなおはなし？



“ちやがまにあしがはえてあるいております！”

### 「ぶんぶくちやがま」

日本の昔話



むかしむかし、あるお寺(てら)に古道具(ふるどうぐ)あつめが大きなおしょうさまがいました。あるときおしょうさまは、りっぱな茶釜(ちやがま)を手にいれました。その茶釜(ちやがま)で湯(ゆ)をわかそうと火にかけると…。茶釜(ちやがま)は急(きゅう)にしっぽや足(あし)をはやして、「アチチー」と、いろりからとびだしました。きみが悪(わる)くなったおしょうさまは、その茶釜(ちやがま)を古道具屋(ふるどうぐや)さんにうります。すると、その夜…。



## 出演者



つかじ むが  
塚地 武雅 さん

ドラマ、CMでだいかつやくの塚地武雅(つかじむが)さんが、「ぶんぶくちやがま」を語(かた)り聞(き)かせてくれます。おしょうさま、小ぼうず、ぶんぶく茶釜(ちやがま)、古道具屋(ふるどうぐや)さんをえんじわけます。また、塚地(つかじ)さんがえん茶釜(ちやがま)のつなわたりのシーンは、とってもかわいいですよ！



## 番組イラスト／「読んでみよう！」イラスト制作



イラストレーター  
若林 夏(わかばやし なつ)

